

### Ⅲ 平成24年度教育関連施策・事業の点検評価結果

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）に掲げられた教育関連施策のとりくみ目標の平成24年度末における達成状況とその評価及びこれに関連して実施した教育関係の主な事業の評価は、次のとおりです。

なお、枠で囲ってある後期基本計画のとりくみ目標の評価の具体的内容及び枠の下に★印で記載してある教育関係の主な事業の評価の具体的内容については、別添の「とりくみ目標の点検評価表」及び「事務事業点検評価表」を参照してください。とりくみ目標の整理番号はL-1～L-18、主な事業の整理番号は1～29です。

#### 1 生涯学習の振興

##### (1) 生涯学習の促進

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-1）

生涯学習・社会教育に関する事業件数（件）

実績値（平成21年度） 910

目標値（平成27年度） 965

平成24年度末の達成状況 1,094

（達成状況とその評価）

平成24年度は、生涯学習出前講座の依頼件数の増加と各公民館や図書館が実施した事業数の増加により目標値を達成できた。

今後も、出前講座の周知を図るとともに、各施設における講座等の開催数の確保に努めていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-2）

生涯学習・社会教育情報へのアクセス件数（件）

実績値（平成21年度） —

目標値（平成27年度） 10,000/月

平成24年度末の達成状況 8,335/月

（達成状況とその評価）

平成24年度より、生涯学習に取り組む団体やボランティア講師の情報を「さやまなびいネット」として公開したため、アクセス件数が目標値に近づいた。今後は、「さやまなびいネット」をさらに周知するとともに、さやまルシェ内の生涯学習・社会教育に係る事業の情報内容の充実に努め、アクセス件数の増加を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-3）

現代的課題や地域課題に関する事業件数（件）

実績値（平成21年度） 97

目標値（平成27年度） 150

平成24年度末の達成状況 159

（達成状況とその評価）

事業件数については目標値を達成した。今後も、講座の学習プログラム等についてさらに充実していく必要がある。

#### 1) 生涯学習の機会の充実

★狭山シニア・コミュニティ・カレッジ事業（整理番号1）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

★公民館講座等運営事業（整理番号3）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

★公民館管理事業（整理番号4）

⇒必要性：高い、有効性：普通、効率性：高い

★図書館管理事業（整理番号5）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

★博物館管理事業（整理番号6）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：普通

★博物館企画展事業（整理番号7）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

#### 2) 生涯学習の環境の充実

★公共建築物耐震改修事業（整理番号2-1）

⇒必要性：非常に高い、有効性：普通、効率性：高い

★公民館空調改修事業（整理番号2-2）

⇒必要性：非常に高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

★生涯学習推進事業（整理番号8）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

#### 3) 社会教育の充実

★現代的課題等講座運営事業（整理番号9）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

#### 4) 学習成果の評価と活用

## (2) 生涯スポーツの促進

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-4)

スポーツ教室・行事の開催回数(回)

実績値(平成21年度) 21

目標値(平成27年度) 25

平成24年度末の達成状況 24

(達成状況とその評価)

開催回数については、目標値の達成に向け増加しているが、今後も、市民ニーズを的確に把握するとともに、種目の見直し及び民間企業や大学等の施設や人材の活用などを通じて、内容の充実を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-5)

公共スポーツ施設利用者数(人)

実績値(平成21年度) 813,109

目標値(平成27年度) 830,000

平成24年度末の達成状況 891,146

(達成状況とその評価)

施設の利用人数の増加により、目標値は達成しているが、今後も、市民ニーズを的確に把握し、スポーツ環境の整備を図るとともに、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動のより一層の活性化を図り、施設の有効利用の促進を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-6）

スポーツ実施率（％）

実績値（平成19年度） 36.4

目標値（平成27年度） 50以上

平成24年度末の達成状況 -

（達成状況とその評価）

平成24年度末時点のアンケート調査は実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、近年のスポーツ・レクリエーションへの関心度の高まりから、目標値に近づきつつあると推測される。

今後も、各種のスポーツ教室・行事の充実を図るとともに、多様なスポーツへの参加機会を拡充するなどして、市民のスポーツの実施率の向上を図っていく必要がある。

1) スポーツの機会の拡充

★スポーツ振興事業（整理番号10）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：普通

2) スポーツ施設の整備と有効活用

★市民総合体育館管理事業（整理番号11）

⇒必要性：高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

★武道館管理運営事業（整理番号12）

⇒必要性：高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

3) 地域のスポーツ活動の促進

★スポーツ活動促進事業（整理番号13）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

## 2 学校教育の充実

### (1) 教育内容の充実

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-7)

埼玉県学習状況調査項目のなかで関心・意欲・態度の観点を測る問題の正答率(%)

実績値(平成21年度)	小学	76.6	中学	55.9
目標値(平成27年度)	小学	80.0	中学	70.0
平成24年度末の達成状況	小学	67.3	中学	65.9

(達成状況とその評価)

中学校においては正答率が伸びたが、小学校においては正答率がやや下がった。関心・意欲・態度を高める指導をさらに充実していく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-8)

農業体験宿泊学習実施校数(校)

実績値(平成21年度)	3
目標値(平成27年度)	17
平成24年度末の達成状況	10

(達成状況とその評価)

津南町での農業体験宿泊学習を実施した学校数の累計だが、目標値達成のためには、残り3年間で7校の実施が必要となる。実施の意義の理解を踏まえて、積極的な参加を促していく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-9)

不登校児童生徒の学校復帰率(%)

実績値(平成21年度)	27.4
目標値(平成27年度)	33.3
平成24年度末の達成状況	36.2

(達成状況とその評価)

不登校児童生徒が増加傾向にあり、今後も、引き続き、相談員によるきめ細かな相談活動や適応指導教室と学校との連携の強化等を通じて、学校への復帰を促していく必要がある。

1) 教育指導内容の充実

★教育活動事業（整理番号14）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

★教育指導支援事業（整理番号15）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

2) 特別支援教育の充実

3) 教育支援体制の充実

★教育相談事業（整理番号16）

⇒必要性：非常に高い、有効性：高い、効率性：高い

★奨学金貸与事業（整理番号17）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：普通

★幼稚園就園奨励事業（整理番号18）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：普通

4) 教職員の資質の向上

5) 家庭教育力の向上を図る取組と地域との連携

6) 学校関係者評価の積極的な公開

(2) 教育環境の充実

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-10）

○小中学校の校舎・体育館の耐震化率（％）

実績値（平成21年度） 63.3

目標値（平成27年度） 100

平成24年度末の達成状況 80.0

（達成状況とその評価）

平成24年度は、入間川東小学校、新狭山小学校、広瀬小学校及び狭山台中学校の体育館の耐震補強工事を実施した。今後も目標の達成に向け継続して実施していく必要がある。

○小中学校の校舎の冷暖房設備の改修学校数（校）

実績値（平成21年度） 14/27（51.8％）

目標値（平成27年度） 20/25（80.0％）

平成24年度末の達成状況 17/25（68.0％）

（達成状況とその評価）

平成24年度は、広瀬小学校及び山王小学校の冷暖房設備の改修工事を実施した。今後も目標の達成に向け継続して実施していく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-11）

堀兼学校給食センター更新の進捗率（％）

実績値（平成21年度） ー

目標値（平成27年度） 100

平成24年度末の達成状況 事業用地の取得、特定事業の選定

（達成状況とその評価）

新学校給食センターの用地を取得するとともに、更新事業はPFI（BTO）方式で実施することが適切であることを内容とする特定事業の選定を実施した。今後は事業者との事業契約の締結に向けて、諸手続きを実施していく必要がある。

1) 安心・安全な教育環境の確保

★小学校校舎等耐震補強事業（整理番号19-1）

⇒必要性：高い、有効性：非常に高い、効率性：非常に高い

★中学校校舎等耐震補強事業（整理番号19-2）

⇒必要性：高い、有効性：非常に高い、効率性：非常に高い

2) 快適な教育環境の確保

★小学校校舎空調設備改修事業（整理番号20）

⇒必要性：非常に高い、有効性：非常に高い、効率性：非常に高い

★小学校校舎等改修事業（整理番号21-1）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

★中学校校舎等改修事業（整理番号21-2）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：高い

★堀兼学校給食センター更新事業（整理番号22）

⇒必要性：非常に高い、有効性：かなり低い、効率性：普通

3) 学校の規模の適正化

★中学校統廃合推進事業（整理番号23）

⇒必要性：非常に高い、有効性：かなり低い、効率性：高い

### (3) 地域と連携した教育の推進

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-12)

○学校支援ボランティアの派遣人数(人)

実績値(平成21年度) 242

目標値(平成27年度) 290

平成24年度末の達成状況 300

(達成状況とその評価)

小・中学校へ学習支援などのボランティアを派遣する学校支援ボランティアセンターにおいて、ボランティアの登録の促進と派遣先の確保に努め、目標値を達成できた。今後も、派遣先の確保と派遣人数の増加を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-13)

○学校応援団への参加者数(延べ人数)

実績値(平成21年度) 59,875

目標値(平成27年度) 63,000

平成24年度末の達成状況 47,253

(達成状況とその評価)

小・中学校ごとに設置されている学校応援団について、保護者や地域住民などの参加の促進を図るとともに、学校や地域の特色を活かした活動の促進を図った。なお、参加者数については、県へ報告する延べ人数の捉え方が変更になったため、平成24年度は減少した。

今後も、参加と活動のより一層の促進を図っていく必要がある。

[変更点]1日のうちに同一人が複数の活動に参加した場合

変更前:活動ごとに1人でカウント

変更後:1日をとおして1人でカウント

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-14）

家庭教育の啓発活動の実施回数（回）

実績値（平成21年度） 56

目標値（平成27年度） 70

平成24年度末の達成状況 72

（達成状況とその評価）

公民館における取り組みが図られたことから、目標値を達成できた。今後も、家庭教育学級等の実施回数の確保に努めるとともに、内容の充実を図っていく必要がある。

1) 学校開放などの推進

2) 地域による学校支援の促進

★学校支援事業（整理番号24）

⇒必要性：非常に高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

3) 家庭や地域の教育力の向上

★家庭教育支援事業（整理番号25）

⇒必要性：高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

★地域子ども教室推進事業（整理番号26）

⇒必要性：非常に高い、有効性：高い、効率性：高い

### 3 人権と平和の尊重

#### (1) 人権尊重意識の高揚

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-15)

○人権啓発に関する事業件数(件)

実績値(平成21年度)	5
目標値(平成27年度)	7
平成24年度末の達成状況	6

(達成状況とその評価)

講演会やパネル展の開催などにより、人権問題に対する理解を深める機会を拡充した。今後も、関係機関と連携し、事業件数の増加に努めるとともに、内容の充実を図っていく必要がある。

○人権教育に関する事業件数(件)

実績値(平成21年度)	56
目標値(平成27年度)	60
平成24年度末の達成状況	50

(達成状況とその評価)

公民館等における事業件数の増加が図られず実績値を下回った。目標値の達成に向け、公民館・集会所における事業件数の増加を図っていく必要がある。

1) 人権尊重意識の啓発活動の推進

2) 人権教育の推進

★人権施策推進事業(整理番号27)

⇒必要性：非常に高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

## (2) 平和意識の高揚

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-16)

平和関連事業の実施件数(件)

実績値(平成21年度) 5

目標値(平成27年度) 7

平成24年度末の達成状況 6

(達成状況とその評価)

市民の平和に対する意識の高揚を図るため、平和関連事業を実施したが、目標値の達成には至っていない。今後も、さらに公民館等での事業の拡充を図っていく必要がある。

### 1) 平和意識の啓発活動の推進

## 4 市民文化の振興と国際化への対応

### (1) 創造性豊かな文化の振興

後期基本計画における「とりくみ目標」(整理番号L-17)

市民文化祭の参加団体数(団体)

実績値(平成21年度) 640

目標値(平成27年度) 670

平成24年度末の達成状況 655

(達成状況とその評価)

公民館などで活動する芸術・文化団体の活動の促進と市民文化祭への参加の促進を図った結果、平成24年度の市民文化祭への参加団体数は655団体となった。今後も、市民の芸術・文化活動の促進を図るなかで、市民文化祭への参加の拡大を図っていく必要がある。

後期基本計画における「とりくみ目標」（整理番号L-18）

民俗芸能などの保存継承件数（件）

実績値（平成21年度） 16

目標値（平成27年度） 16（現状維持を目標）

平成24年度末の達成状況 15

（達成状況とその評価）

民俗芸能などの保存継承については、保存会等の団体の活動を支援することなどに努めてきたが、平成24年度に1団体が活動休止となった。伝承者の高齢化や後継者の減少などの課題はあるが、今後も、引き続き、団体の活動を支援して、民俗芸能などの保存継承に積極的に取り組んでいく必要がある。

1) 市民が創る文化活動の促進

★文化活動促進事業（整理番号28）

⇒必要性：高い、有効性：非常に高い、効率性：高い

2) 文化財の保存・継承と公開

★文化財保護事業（整理番号29）

⇒必要性：高い、有効性：高い、効率性：普通